



ティレラ社、ジェットロと提携して マルチコアプロセッサ「Tile」を日本に紹介

カリフォルニア州サンノゼ、2009年6月10日：ティレラ社 ([Tilera® Corporation](#)) は本日、同社が日本での事業展開のため日本貿易振興機構 ([ジェットロ](#)) の支援を受けることを発表した。北米、ヨーロッパ、中国、中東でのマルチコアプロセッサの成功実績が認められてジェットロが提供する各サービスの利用者として選定されたTilera社は、ビジネスパートナーや人材採用会社の紹介、会社設立手続きのサポートや当座のオフィススペース利用などの支援を受けることができる。

「当社は、ジェットロの支援を受けることを光栄に思っています。当社の継続的成長には日本市場が極めて重要と見ており、特にジェットロは日本での成功の鍵になると考えています。ジェットロのプログラムは、日本での事業の立ち上げに必要とされる複雑なプロセスを簡単にしてくれま

す。」とティレラ社のCEOオミッド・タヘルニアは語っている。

ティレラ社は、ネットワーキング、マルチメディア、無線等のインフラ機器に高い性能と優れた電力効率をもたらす広範囲なマルチコアプロセッサを提供しており、これらプロセッサは、ネットワークセキュリティ、侵入防止、ネットワーク監視、データコンプライアンス、DPI、L4-L7サービス、ビデオ会議、IPTV配信、VoD配信、ビデオコード変換、無線メディアゲートウェイ等、様々な用途に幅広く利用されている。[TILEPro™](#)プロセッサは、競合する同等のプロセッサと比べて3~4倍の性能、さらに1Wあたりの性能が最大5倍も向上するため、大電力化、冷却コスト、計算密度といった課題が軽減される。

ティレラ社について：

ティレラ社 (Tilera® Corporation) は、ネットワーキングや無線、マルチメディア等のインフラ向けのスケラビリティに優れた汎用マルチコアプロセッサで業界をリードしている。このプロセッサは、同社のブレークスルー技術であるiMesh™アーキテクチャーをベースに、そのスケールに応じてRISCベースのコアを最大数百個までシングルチップ化するもの。この革新的な分散型アーキテクチャーと、ANSI C/C++コンパイラ、GNUツール、Eclipse IDE等の標準ベースのツールの活用により、高性能、電力効率、およびプログラミングの柔軟性がこれまで考えられなかった高い次元で融合する。ティレラ社は2004年10月の創立で、現在はTILE64™とTILEPro™の2つのプロセッサ製品ファミリーを提供している。同社の本社はカリフォルニア州サンノゼで、マサチューセッツ州ウェストバラ と北京にも拠点がある。

ジェットロ (JETRO) について：

ジェットロ (JETRO：日本貿易振興機構) は、日本と諸外国との間の相互貿易や投資を推進する政府関係機関。当初は日本から海外への輸出を推進する目的で1958年に設立されたジェットロだが、その21世紀における主な焦点は、海外から日本への直接投資を推進することや日本の中小企業から全世界に向けた輸出の可能性を最大限に高めるための支援へとシフトしている。

ティレラ社の連絡先：

Ihab Bishara
Marketing Director
Tilera Corporation
ibishara@tilera.com